

統計学基礎 練習問題

第3回 1変量データの記述(1)

2016 年 10 月 3 日

問1 かすみさんのクラスでは、世界の国々でのインターネットの利用状況を調べることになりました。そこで、右の2つの統計グラフからわかることを話し合いました。

生徒 A: もっともインターネットが普及している国は中国です。

生徒 B: 100 人当たりの利用者数でいえば、日本は多いほうです。

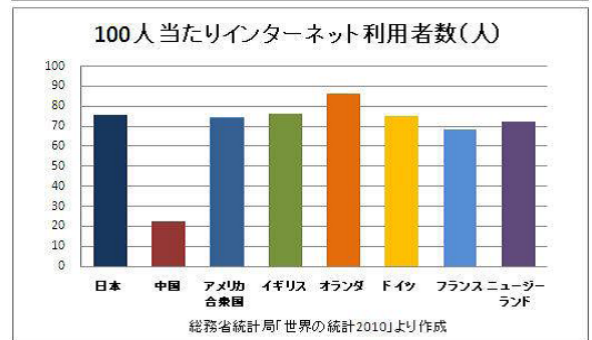
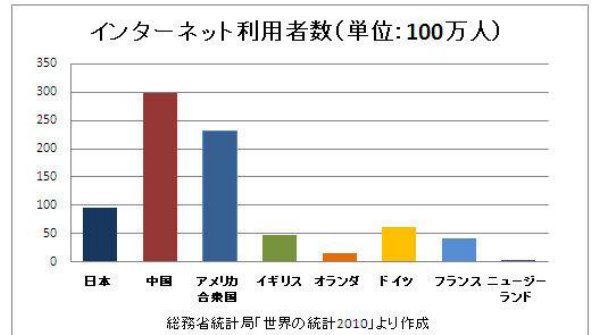
生徒 C: 中国の利用者数は、日本の利用者数の約 3 倍もいます。

生徒 D: 普及率でいえば、日本とアメリカは変わらないようです。

正しい意見の組合せはどれでしょうか。

- a. (A, B, C, D)
- b. (A, B, C)
- c. (B, C)
- d. (B, C, D)

(統計検定 4 級問題例)



問2 下の表は2013年1月から2014年6月までのビールの月別課税移出数量(単位:千kl)のデータである。この表を見て、以下の各問に答えよ。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2013年	129	167	202	228	224	263	302	262	197	226	222	316
2014年	141	172	236	195	217	252						

出典: ビール酒造組合「市場動向レポート」(<http://www.brewers.or.jp/data/doko-list.html>)

- 2014 年 6 月の前月を基準とした変化率を求めよ。
- 2014 年 6 月の前年同月を基準とした変化率を求めよ。

問3 10月1日から10日間連続して行われた講習会での遅刻者数を調べたところ、次の表のようになった。なお、6日、7日、8日が表示されていなかったため、担当者に尋ねたところ、遅刻者がいなかったため記さなかったとのことだった。

10月	1日	2日	3日	4日	5日	9日	10日
遅刻者数(人)	2	14	17	14	13	3	3

このデータに基づいて、遅刻者数の推移を折れ線グラフで表すことを考えた。次の文章は、折れ線グラフの作成の手順と結果の解釈について記している。

『遅刻者の日ごとの推移をみるには、横軸の目盛は(A)とするほうがよい。また折れ線グラフをみると、遅刻者が最も多いのは(B)日であり、(C)日目以降は急激に遅刻者が減少していることがわかる。この点については、欠席者数についても調べるなどさらなる調査が必要である。』

この文章内の(A)、(B)、(C)として適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① (A) : 1,2,3,4,5,9,10 (B) : 2 (C) : 6
- ② (A) : 1,2,3,4,5,9,10 (B) : 3 (C) : 9
- ③ (A) : 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10 (B) : 3 (C) : 6
- ④ (A) : 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10 (B) : 2 (C) : 6
- ⑤ (A) : 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10 (B) : 3 (C) : 9

(2012年 統計検定3級 問4)